

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	博物館	■担当係	博物館
■評価事業名称	教育普及事業		
■事業開始年度			
■評価事業コード	418200 - 012	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり	
	■基本施策	02 社会教育の充実	
	■施策	03 社会教育機能の充実	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令の実施義務(自治事務)		
■法令等の名称	博物館法第3条		
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	郷土及び収蔵資料等の調査研究に基づいた展示会や学習会を実施し、郷土に関わる多様なテーマについて学びの機会を提供する。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成30年度事業計画	平成30年度事業量実績
01	企画展示等事業	市民	企画展6回、収蔵資料展4回 計10回	特別展1回、企画展4回、収蔵資料展4回、テーマ展1回 計10回
02	教室学習会開催事業	市民	企画展関連教室、ギャラリートーク5回、歴史探訪会2回、自然観察会1回、工作教室2回	特別展関連講座2回、企画展関連イベント11回、親子工作教室4回、常設展解説会6回 計23回

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
直接事業費	616	365	1,600	2,360	
人件費	8,787	3,318	7,882	8,197	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	9,403	3,683	9,482	10,557	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	27年度	28年度	29年度	30年度	指標の説明
01	総合博物館にふさわしい人文分野、自然分野両面からの事業開催	14回	15回	14回	33回	展示会と学習会の開催回数

# 事務事業事後評価シート[平成30年度事業]

02	企画展期間中の来場者数と学習会等の参加者数	6,211人	4,377人	14,800人	25,878人	展示会期間中の来場者数と学習会の参加者数(期間重複あり、延べ人数)
03	企画展1回当りコスト					
04	図録1回当りコスト					

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

多くの展示会と学習会を実施し、学びの機会を提供することができた。

### 問題点・課題等

自然科学分野の専任研究員不在により、この分野の展示会と学習会の展開に支障が生じている。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

### 4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

### 5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

### 6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、より質の高い調査に基づいた幅広い学びの機会を提供していく必要がある。

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了